

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月6日



九州リースサービス

東証スタンダード・福証：証券コード8596

2027年3月期 第1四半期総括と2027年3月期見通し

基礎収益の伸長と不動産売却益により、各段階利益で過去最高益を更新
通期予想に対し高進捗となるも、概ね見通しどおりであり業績予想は変更なし

27.3期 1Q実績

- ・リース・割賦、ファイナンスが好調に推移し、基礎収益が伸長
不動産売却収入も計上したことで、前期比大幅な増益
- ・中東情勢の影響は顕在化しておらず、信用コストは低位に推移

営業利益 **22.8**億円（前期比+54.5%▲）
1Q過去最高益更新

経常利益 **22.3**億円（前期比+47.5%▲）
1Q過去最高益更新

当期純利益 ※ **15.8**億円（前期比+29.6%▲）
1Q過去最高益更新

営業資産残高 **2,071**億円（前期末比+0.7%▲）

27.3期 通期予想

営業利益 **62.0**億円（1Q進捗率 36.8%）
3期連続最高益更新見込

経常利益 **61.0**億円（1Q進捗率 36.7%）
2期連続最高益更新見込

当期純利益 **42.0**億円（1Q進捗率 37.5%）
中計KPI:40億円

営業資産残高 **2,192**億円

年間配当予想 **62**円

ROE **9.00**%
中計KPI:8.0%超

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益（以下、同じ）

Part.1 2027年3月期 第1四半期決算概要

Part.2 セグメントの状況

Part.3 2027年3月期業績予想

Part.1 2027年3月期 第1四半期決算概要

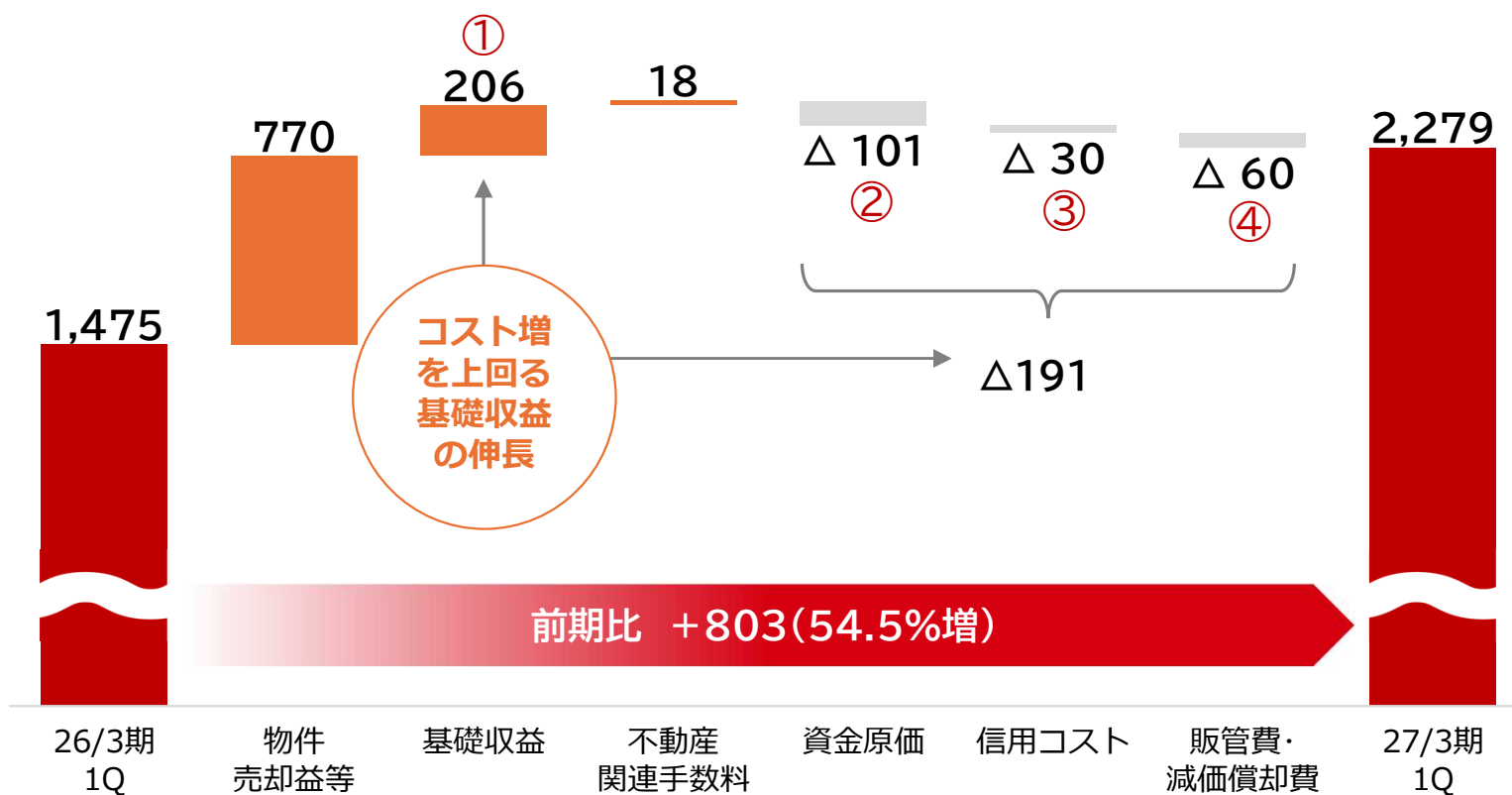
2027年3月期 第1四半期決算概要

- リース・割賦、ファイナンス、不動産の当社コアビジネスがそれぞれ伸長
資金原価等のコスト上昇を吸収し、前期比で増収増益の実績

単位:百万円/%	2026年3月期1Q	2027年3月期1Q	前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	7,488	9,867	+2,379	+31.8%
営業利益	1,475	2,279	+803	+54.5%
営業利益率	19.7%	23.1%	—	+3.4p
経常利益	1,516	2,236	+720	+47.5%
当期純利益	1,216	1,576	+360	+29.6%
営業資産残高	197,269	207,102	+9,833	+5.0%

営業利益増減要因

- 不動産売却益と基礎収益の伸長によりコスト増加をカバー
中東情勢の影響がいまだ不透明だが、足元では顕在化しておらず信用コストは低位に推移



主な増減要因

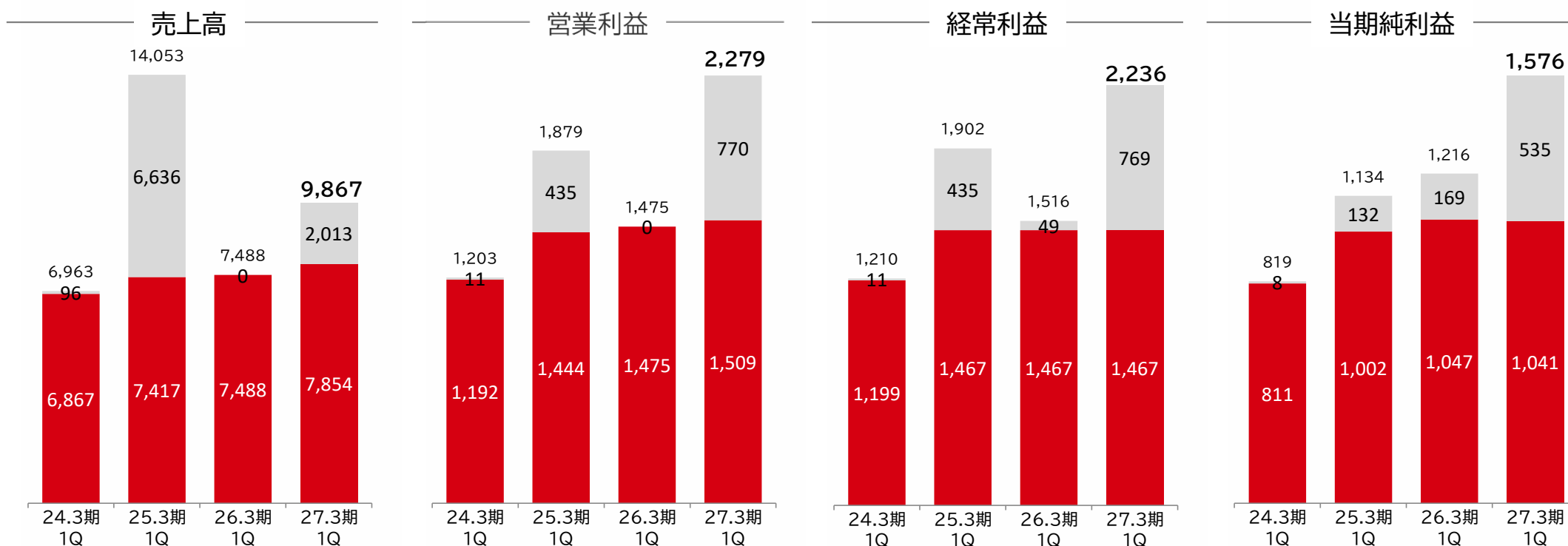
- ① 基礎収益
営業資産の拡大及び利回りの改善(金利転嫁の進展)等による収益増加
- ✓ リース・割賦 + 69
 - ✓ ファイナンス +136 他
-
- ② 資金原価
- ✓ 金利上昇の影響額 Δ93
 - ✓ 借入残高増加の影響額 Δ19 他
-
- ③ 信用コスト
- ✓ 前期大口戻入益の剥落 Δ48 他
-
- ④ 販管費・減価償却費
- ✓ 人的資本投資(人件費) Δ45 他

業績推移

- 一過性要因の有無により増減があるものの、右肩上がりの成長ペースを継続
- 第1四半期時点においては、一過性除く基礎部分は前年並みで推移

■ 一過性要因 ※一過性要因に含むもの……販売用不動産売却、満了に伴う建物リース売却、有価証券売却、物件処分による税金費用減少、特別損益

(単位：百万円)



セグメント別業績

- リース・割賦、ファイナンスの安定的なストック収益が伸長。不動産は物件売却で大幅増

単位:百万円/%	セグメント売上高			セグメント利益		
	26.3期1Q	27.3期1Q	増減率	26.3期1Q	27.3期1Q	増減率
リース・割賦	5,174	6,189	+19.6%	514	587	+14.3%
ファイナンス	605	746	+23.3%	426	467	+9.6%
不動産	1,230	2,453	+99.5%	521	1,233	+136.4%
フィービジネス	172	162	△5.8%	98	97	△1.7%
環境 ソリューション	301	297	△1.1%	83	78	△5.9%
その他	5	18	+254.9%	0	7	+1553.8%
調整額 (全社経費等)	—	—	—	△170	△192	△13.2%
合計	7,488	9,867	+31.8%	1,475	2,279	+54.5%

貸借対照表

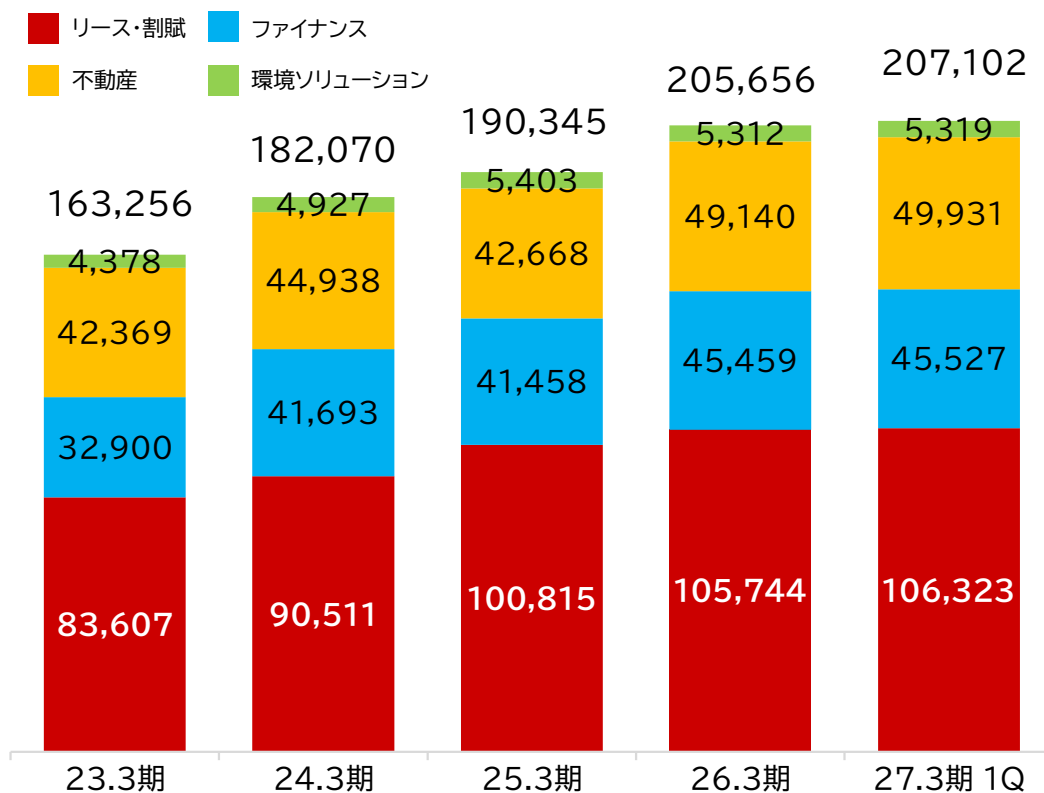
- 概ね当初計画に沿って推移し、前期末比でほぼ横ばいの実績

	26.3期末	27.3期 1Q末	増減額
流動資産	164,595	164,697	+102
現金及び預金	6,325	4,676	△1,648
割賦債権	33,580	34,925	+1,344
リース債権及び リース投資資産	65,730	65,055	△675
営業貸付金	45,102	45,077	△25
販売用不動産	13,369	14,260	+890
固定資産	54,990	54,746	△244
有形固定資産	39,248	38,989	△258
賃貸不動産(純額)	28,312	28,223	△89
その他賃貸資産 (ホーレーティングリース資産)	7,260	7,183	△77
無形固定資産	432	398	△34
投資その他の資産	15,310	15,358	+48
投資有価証券	13,293	13,299	+6
資産合計	219,586	219,443	△142

	26/3期末	27/3期 1Q末	増減額
流動負債	58,981	68,457	+9,476
1年以内償還予定社債	500	500	±0
短期借入金	42,861	51,463	+8,602
固定負債	115,106	104,676	△10,429
社債	21,300	21,150	△150
長期借入金	82,156	71,868	△10,287
負債合計	174,087	173,134	△952
純資産	45,498	46,308	+810
負債純資産合計	219,586	219,443	△142

営業資産の推移

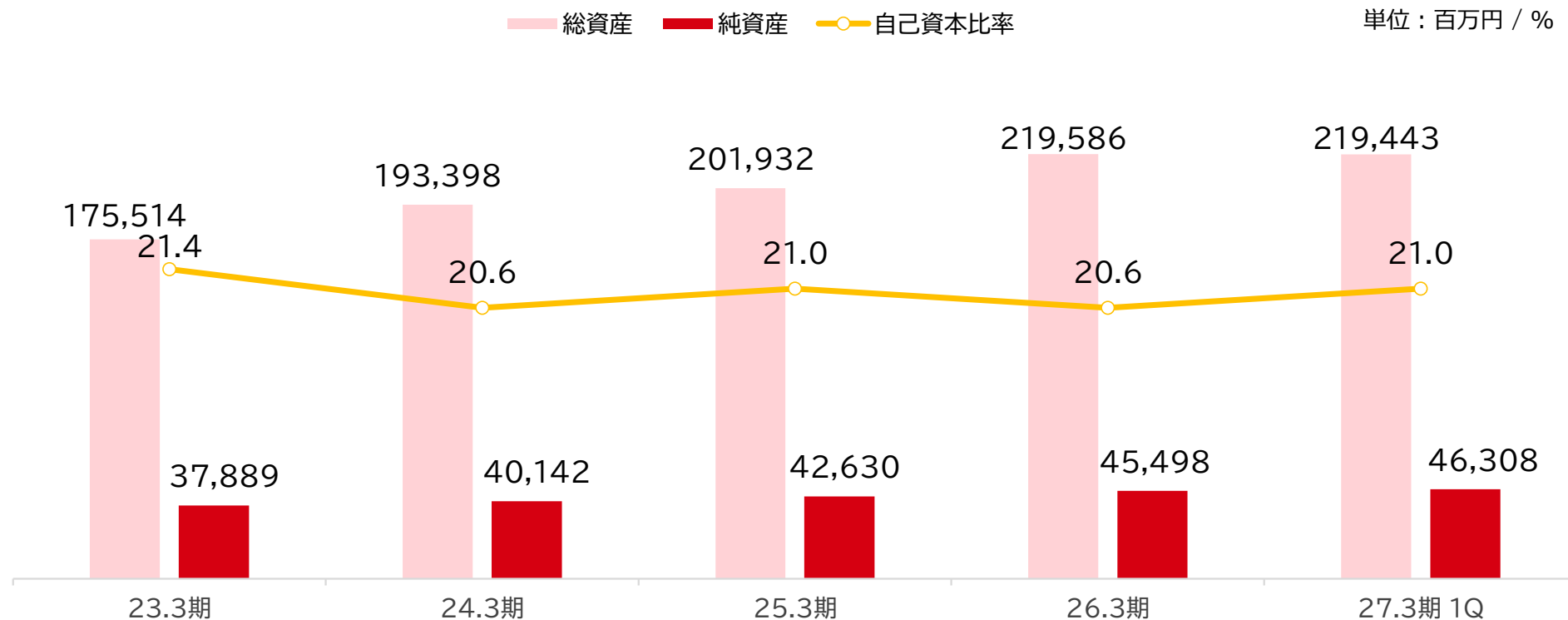
- 新規実行と回収・売却がともに進展し、前期末比での営業資産は微増
- 引き続き、利回りや効率性を重視した資産回転型のビジネスモデルを展開



単位:百万円/%	26.3期	27.3期1Q	増減額	増減率
リース・割賦	105,744	106,323	+579	+0.6%
ファイナンス	45,459	45,527	+67	+0.2%
不動産	49,140	49,931	+791	+1.6%
環境ソリューション	5,312	5,319	+7	+0.1%
合計	205,656	207,102	+1,446	+0.7%

総資産・純資産・自己資本比率・ROEの推移

- 安定的な資金調達に向け外部評価の維持・向上を図りつつ、リスクバッファの観点から一定の自己資本比率を確保する必要
- 財務健全性とのバランスに留意しつつ、収益成長と株主還元の充実により資本効率を改善

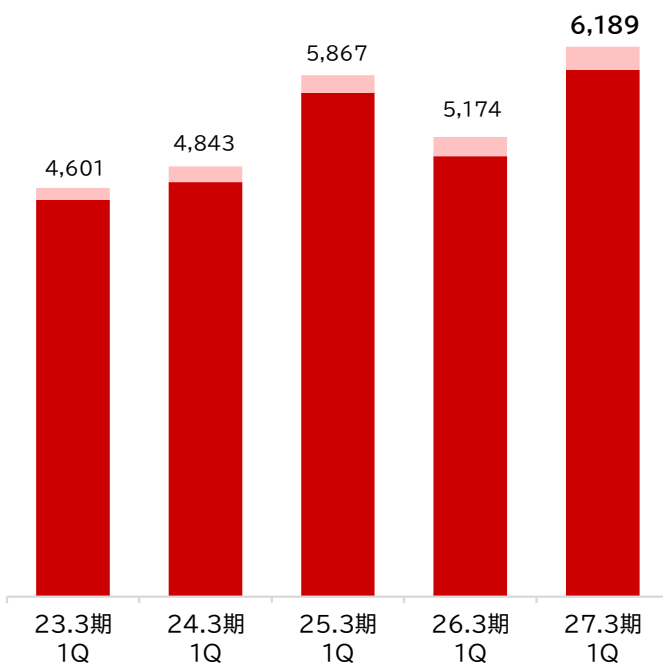


Part.2 セグメントの状況

リース・割賦 一業績推移

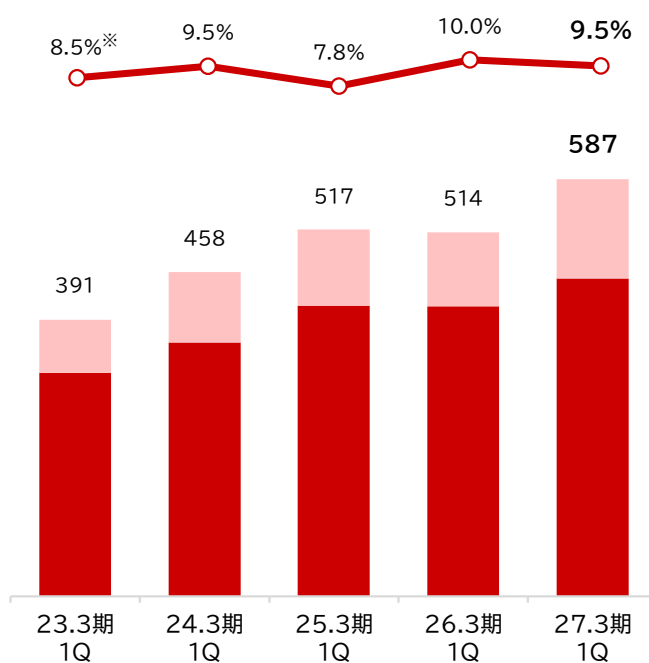
- 旺盛な設備投資需要を背景に、新規実行は堅調に推移
建物リース物件売却による収益も寄与し、前期比で増収増益の実績

売上高



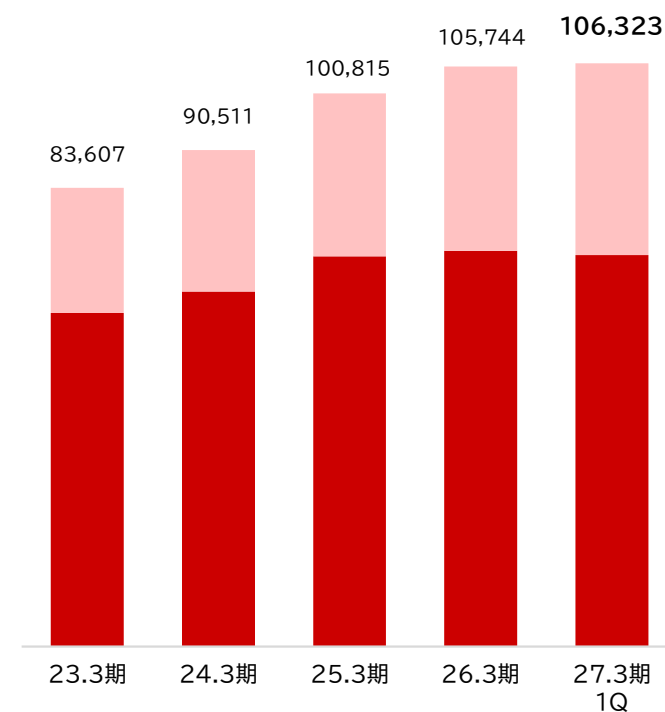
Copyrights ©2026 KYUSHU LEASING SERVICE CO.,LTD. All Right Reserved.

セグメント利益 / 率



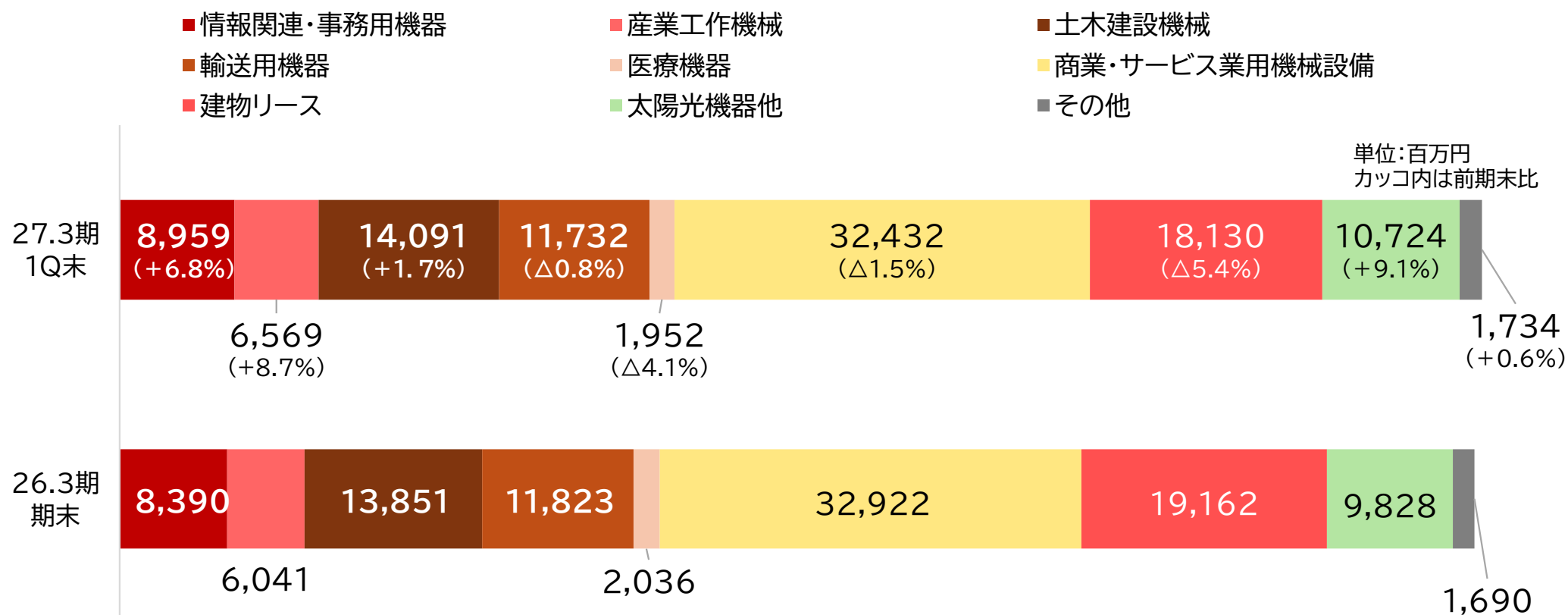
※23.3期:航空機リース売却による一過性収益1,889百万円含む

営業資産



リース・割賦 一機種別営業資産残高

- 太陽光機器など環境関連分野向けの設備や、工場内の製造業用機械設備などが増加
半導体関連や都市再開発等により土木建設機械の需要は引き続き堅調に推移

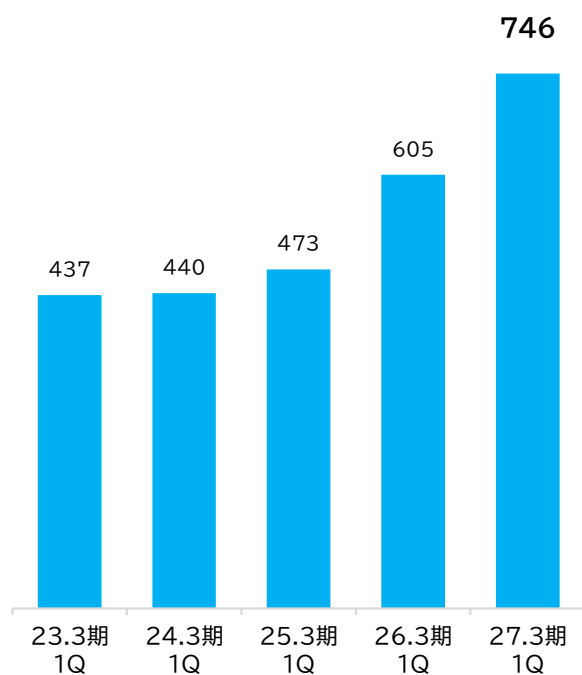


ファイナンス ー業積推移

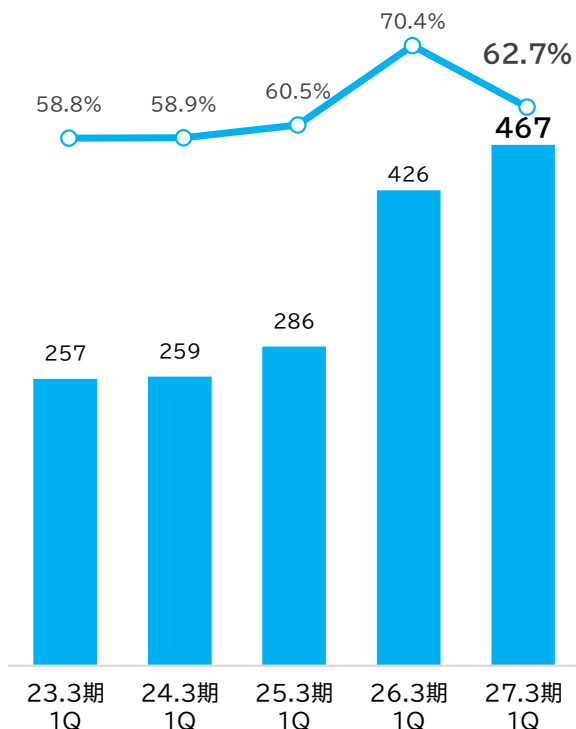
- 期中平残を積み上げたほか、金利プライシング強化により、増収増益
大口案件の回収があったものの、新規実行によりカバーし、営業資産はほぼ横ばい

単位:百万円

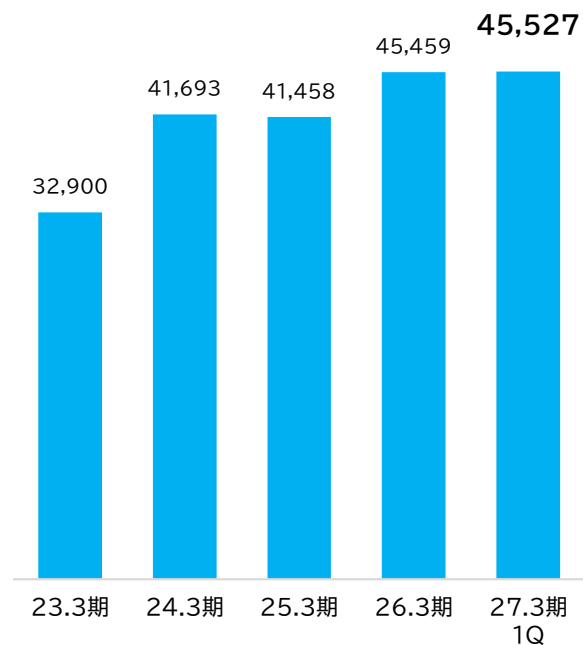
売上高



セグメント利益 / 率



営業資産

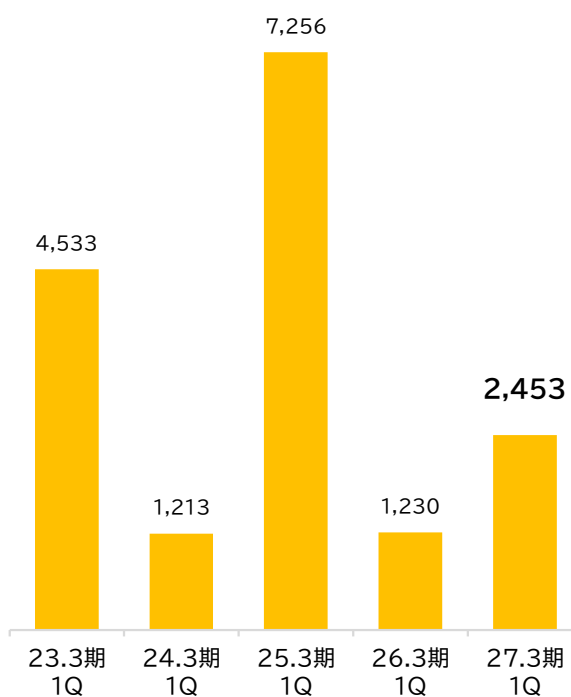


不動産 一業績推移

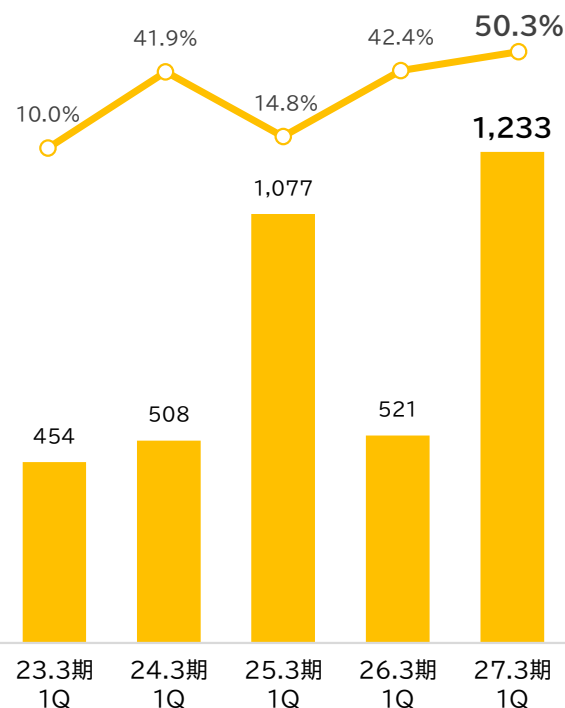
- 販売用不動産売却を主因に増収増益(当初計画に織り込み済み)
新たな物件の仕入れも進展し、営業資産は増加

単位:百万円

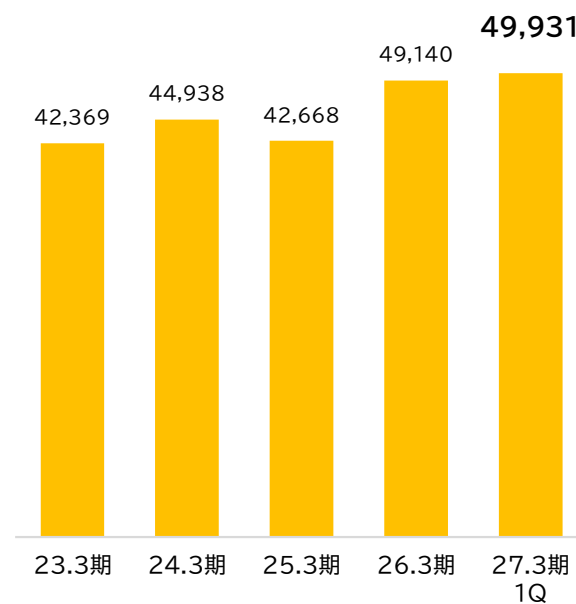
売上高



セグメント利益 / 率



営業資産

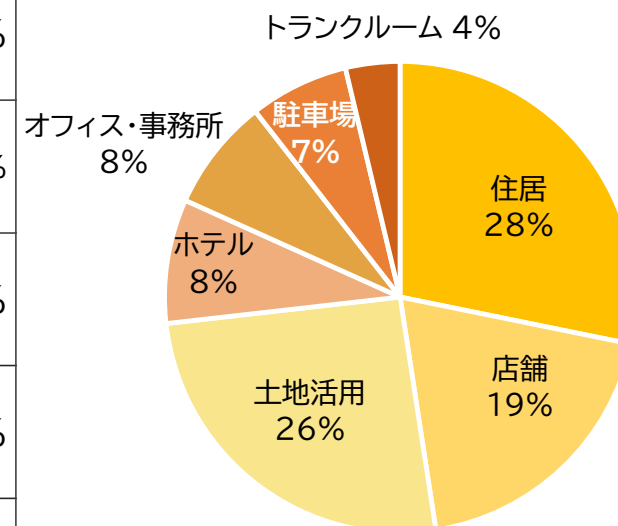


不動産 —不動産セグメント業績 / 所有不動産アセット

- 賃貸不動産は安定して高稼働、賃料引き上げによる収益性向上を継続
仲介手数料の収益も堅調に推移

単位:百万円/%	売上高			セグメント利益		
	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減率	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減率
賃貸不動産	851	837	△1.6%	411	423	+2.8%
販売用不動産	128	1,397	+986.0%	23	714	+2926.7%
仲介手数料	174	147	△15.8%	43	55	29.1%
その他 (匿名組合投資ほか)	75	72	△4.6%	43	34	△8.5%
合計	1,230	2,453	+99.5%	521	1,233	+136.4%

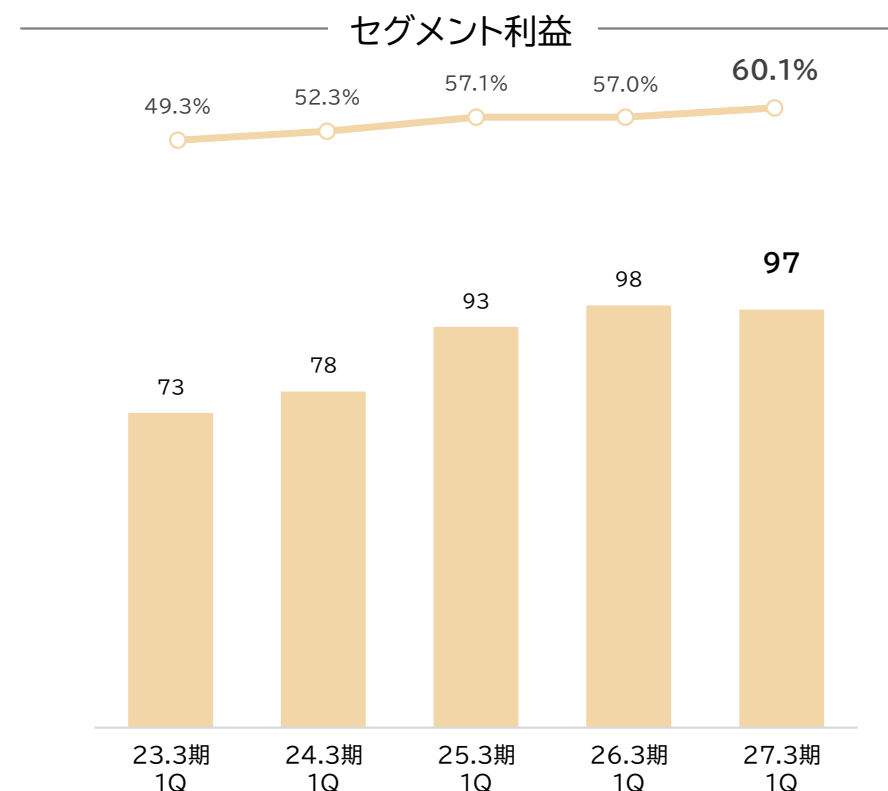
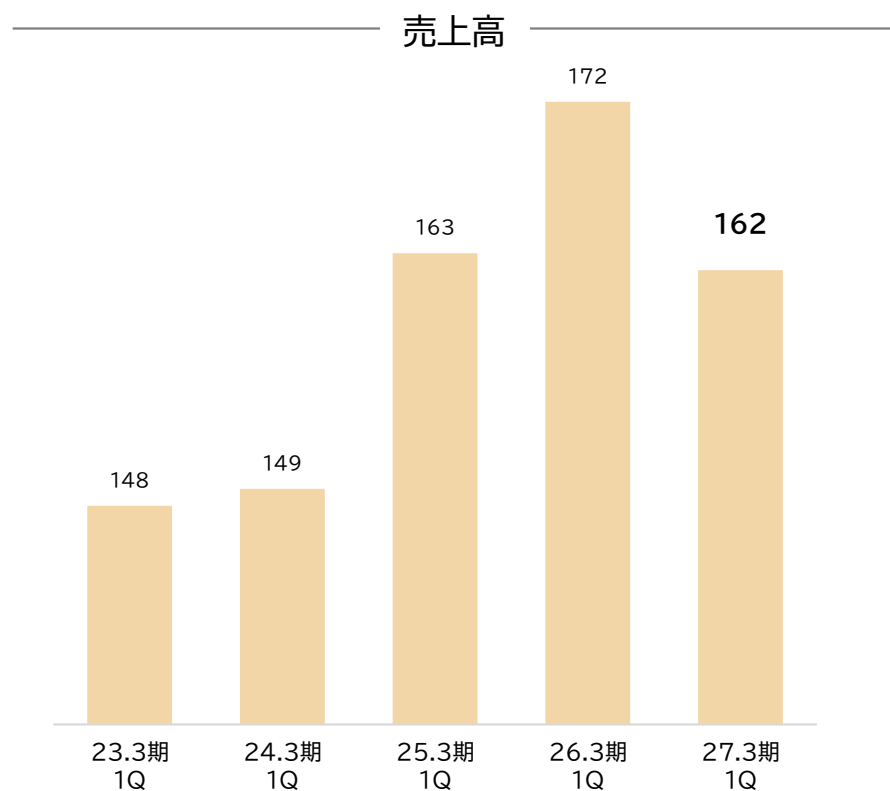
所有不動産アセット種類別割合
(2026年6月末簿価ベース)



フィービジネス ー業績推移

- カーリース手数料の減少により減収となるも、保険手数料がカバーし利益は横ばいで推移

単位:百万円



フィービジネス —フィービジネスセグメント業績

- 生命保険手数料、損害保険手数料とも堅調に推移

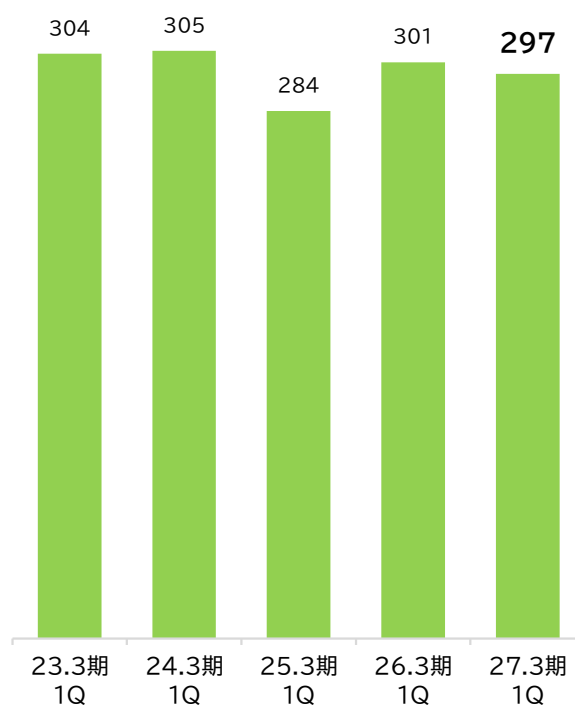
単位:百万円/%	売上高			セグメント利益		
	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減率	26.3期 1Q	27.3期 1Q	増減率
カーリース手数料	114	103	△9.6%	60	56	△6.7%
生命保険手数料	26	29	+11.5%	17	21	+23.5%
損害保険手数料	26	27	+3.8%	17	18	+5.9%
その他	5	1	△80.0%	3	1	△66.7%
合計	172	162	△5.8%	98	97	△1.0%

環境ソリューション ―業績推移

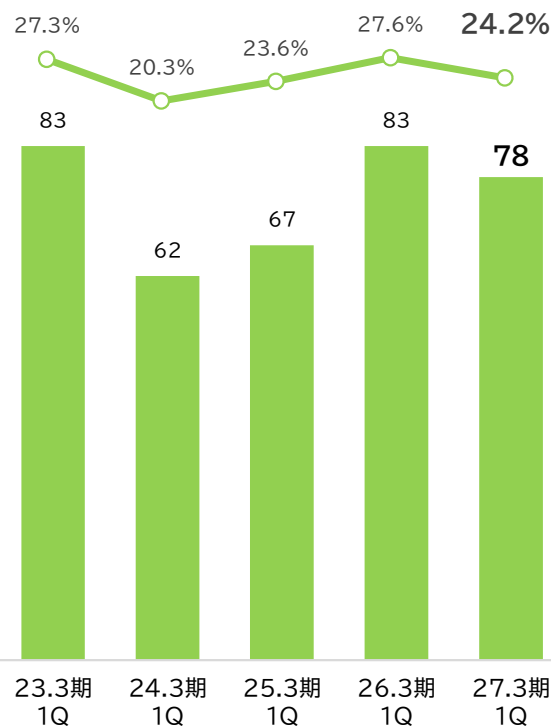
- 天候不順や出力抑制の増加等により太陽光発電の売電収入が減少

単位:百万円

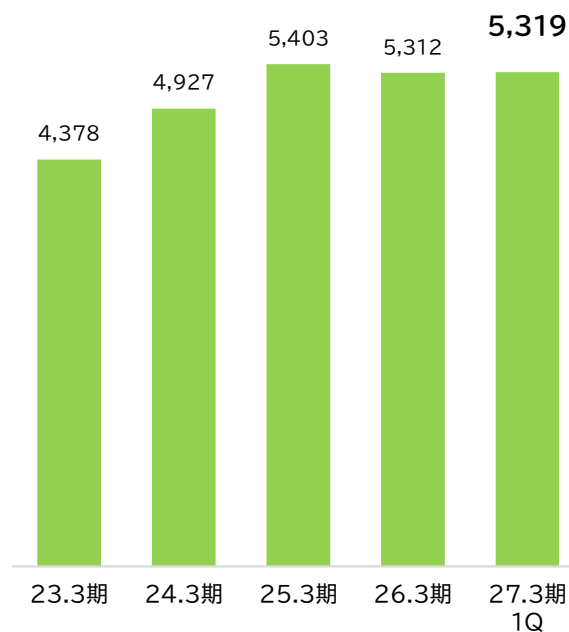
売上高



セグメント利益 / 率



営業資産



Part.3 2027年3月期業績予想

2027年3月期業績予想

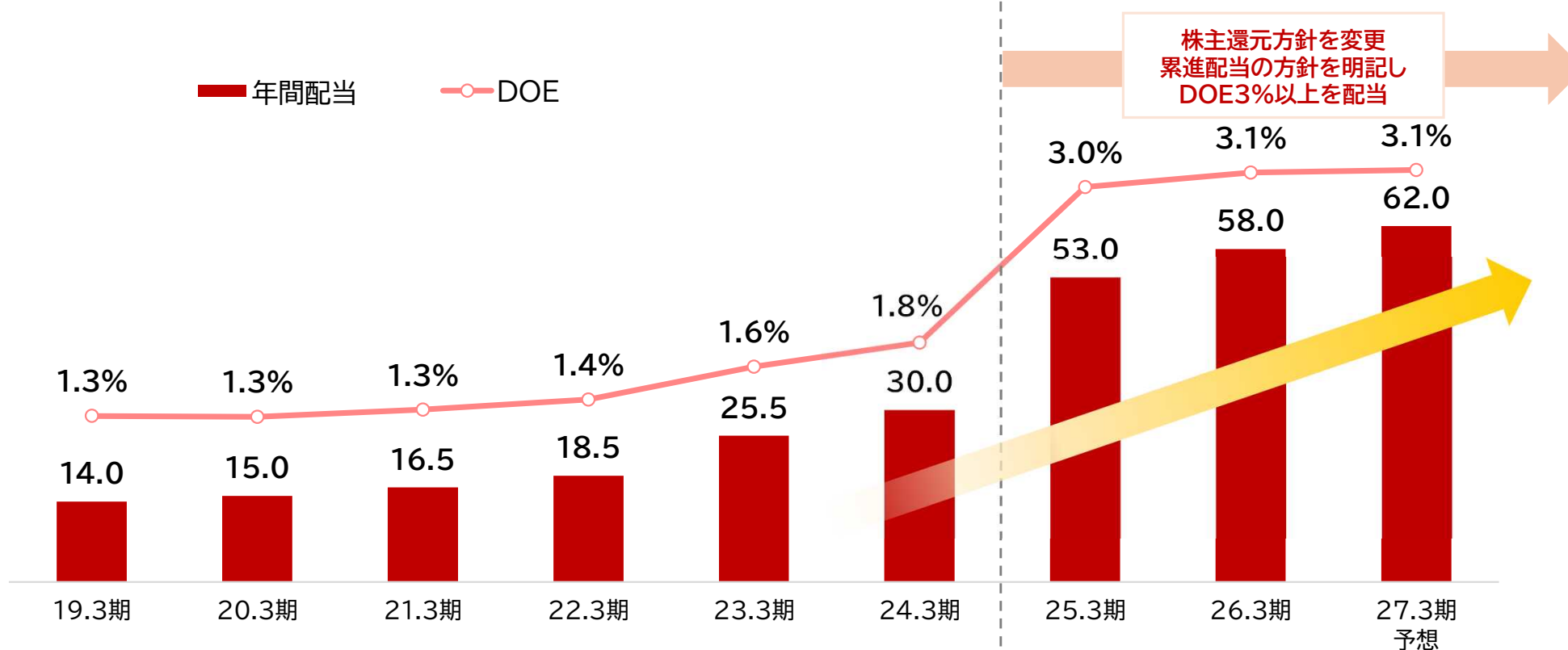
- 第1四半期までの業績は概ね見通しどおりで推移。6月の政策金利引上げも計画に織り込み済みであり、業績予想は変更なし
- 安定的な基礎収益の伸長と、資産入替によるフロー収益の確保、投資リターンの実現から通期予想の達成を目指す

単位:百万円/%	2026年3月期	2027年3月期	前年同期比	
	実績	通期予想	増減額	増減率
営業利益	6,083	6,200	+116	+1.9%
経常利益	6,008	6,100	+92	+1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,929	中計KPI:40億円 ➡ 4,200	+271	+6.9%
ROA	1.86%	中計KPI:1.75%超 ➡ 1.87%	—	+0.01p
ROE	8.95%	中計KPI:8.00%超 ➡ 9.00%	—	+0.05p
営業資産残高	205,656	219,200	+13,543	+6.6%

※当社グループの事業特性上、売上高は事業成果を適切に示す指標ではなく、業績指標として各段階利益を重視していることを踏まえ、2027年3月期より売上高の業績予想を公表しておりません。

株主還元・配当予想（当初開示内容から変更なし）

- 現中計期間中の累進配当かつDOE3.0%以上を目安とする株主還元方針
- 26.3期 期末配当は直近公表通り30円を配当し、年間配当58円（前期比+5円）
27.3期は年間62円の配当予想とし、8期連続での増配となる見込み





お問い合わせ先

株式会社九州リースサービス 総合企画部
TEL 092-431-2915
ホームページ <https://www.k-lease.co.jp/>

本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。